

音楽のまちの「大行進」 伝統を継ぐ

北海道音楽大行進
実行委員長
みなみ やすかず
南 裕一さん



音楽大行進は、先人たちの熱い思いでこれまで開催を重ね、音楽のまちの市民行事として定着しました。全国最大規模の音楽パレードで、数千人が10数万人の観客を前に演奏する、年に1度の晴れ舞台。子供の数が減っても盛り上がりは変わりません。コロナ禍で2年連続中止となりましたが、今年の第90回は、ぜひ実現させたいです。



第1回慰靈音楽大行進



師団通のすずらん灯（昭和10年代）

旭川のあゆみ	
明治18年	岩村通俊らが近文山より国見
明治19年	上川郡に旭川・神居・永山の3村を置く
明治20年	永山村に屯田兵入地
明治21年	旭川村を旭川町と改称
明治22年	明治33年
明治23年	明治24年
明治24年	明治25年
明治25年	明治26年
明治26年	明治27年
明治27年	明治28年
明治28年	明治29年
明治29年	明治30年
明治30年	明治31年
明治31年	明治32年
明治32年	明治33年
明治33年	明治34年
明治34年	明治35年
明治35年	明治36年
明治36年	明治37年
明治37年	明治38年
明治38年	明治39年
明治39年	明治40年
明治40年	明治41年
明治41年	明治42年
明治42年	明治43年
明治43年	明治44年
明治44年	明治45年
明治45年	明治46年
明治46年	明治47年
明治47年	明治48年
明治48年	明治49年
明治49年	明治50年
明治50年	明治51年
明治51年	明治52年
明治52年	明治53年
明治53年	明治54年
明治54年	明治55年
明治55年	明治56年
明治56年	明治57年
明治57年	明治58年
明治58年	明治59年
明治59年	明治60年
明治60年	明治61年
明治61年	明治62年
明治62年	明治63年
明治63年	明治64年
明治64年	明治65年
明治65年	明治66年
明治66年	明治67年
明治67年	明治68年
明治68年	明治69年
明治69年	明治70年
明治70年	明治71年
明治71年	明治72年
明治72年	明治73年
明治73年	明治74年
明治74年	明治75年
明治75年	明治76年
明治76年	明治77年
明治77年	明治78年
明治78年	明治79年
明治79年	明治80年
明治80年	明治81年
明治81年	明治82年
明治82年	明治83年
明治83年	明治84年
明治84年	明治85年
明治85年	明治86年
明治86年	明治87年
明治87年	明治88年
明治88年	明治89年
明治89年	明治90年
明治90年	明治91年
明治91年	明治92年
明治92年	明治93年
明治93年	明治94年
明治94年	明治95年
明治95年	明治96年
明治96年	明治97年
明治97年	明治98年
明治98年	明治99年
明治99年	明治100年
明治100年	明治101年
明治101年	明治102年
明治102年	明治103年
明治103年	明治104年
明治104年	明治105年
明治105年	明治106年
明治106年	明治107年
明治107年	明治108年
明治108年	明治109年
明治109年	明治110年
明治110年	明治111年
明治111年	明治112年
明治112年	明治113年
明治113年	明治114年
明治114年	明治115年
明治115年	明治116年
明治116年	明治117年
明治117年	明治118年
明治118年	明治119年
明治119年	明治120年
明治120年	明治121年
明治121年	明治122年
明治122年	明治123年
明治123年	明治124年
明治124年	明治125年
明治125年	明治126年
明治126年	明治127年
明治127年	明治128年
明治128年	明治129年
明治129年	明治130年
明治130年	明治131年
明治131年	明治132年
明治132年	明治133年
明治133年	明治134年
明治134年	明治135年
明治135年	明治136年
明治136年	明治137年
明治137年	明治138年
明治138年	明治139年
明治139年	明治140年
明治140年	明治141年
明治141年	明治142年
明治142年	明治143年
明治143年	明治144年
明治144年	明治145年
明治145年	明治146年
明治146年	明治147年
明治147年	明治148年
明治148年	明治149年
明治149年	明治150年
明治150年	明治151年
明治151年	明治152年
明治152年	明治153年
明治153年	明治154年
明治154年	明治155年
明治155年	明治156年
明治156年	明治157年
明治157年	明治158年
明治158年	明治159年
明治159年	明治160年
明治160年	明治161年
明治161年	明治162年
明治162年	明治163年
明治163年	明治164年
明治164年	明治165年
明治165年	明治166年
明治166年	明治167年
明治167年	明治168年
明治168年	明治169年
明治169年	明治170年
明治170年	明治171年
明治171年	明治172年
明治172年	明治173年
明治173年	明治174年
明治174年	明治175年
明治175年	明治176年
明治176年	明治177年
明治177年	明治178年
明治178年	明治179年
明治179年	明治180年
明治180年	明治181年
明治181年	明治182年
明治182年	明治183年
明治183年	明治184年
明治184年	明治185年
明治185年	明治186年
明治186年	明治187年
明治187年	明治188年
明治188年	明治189年
明治189年	明治190年
明治190年	明治191年
明治191年	明治192年
明治192年	明治193年
明治193年	明治194年
明治194年	明治195年
明治195年	明治196年
明治196年	明治197年
明治197年	明治198年
明治198年	明治199年
明治199年	明治200年
明治200年	明治201年
明治201年	明治202年
明治202年	明治203年
明治203年	明治204年
明治204年	明治205年
明治205年	明治206年
明治206年	明治207年
明治207年	明治208年
明治208年	明治209年
明治209年	明治210年
明治210年	明治211年
明治211年	明治212年
明治212年	明治213年
明治213年	明治214年
明治214年	明治215年
明治215年	明治216年
明治216年	明治217年
明治217年	明治218年
明治218年	明治219年
明治219年	明治220年
明治220年	明治221年
明治221年	明治222年
明治222年	明治223年
明治223年	明治224年
明治224年	明治225年
明治225年	明治226年
明治226年	明治227年
明治227年	明治228年
明治228年	明治229年
明治229年	明治230年
明治230年	明治231年
明治231年	明治232年
明治232年	明治233年
明治233年	明治234年
明治234年	明治235年
明治235年	明治236年
明治236年	明治237年
明治237年	明治238年
明治238年	明治239年
明治239年	明治240年
明治240年	明治241年
明治241年	明治242年
明治242年	明治243年
明治243年	明治244年
明治244年	明治245年
明治245年	明治246年
明治246年	明治247年
明治247年	明治248年
明治248年	明治249年
明治249年	明治250年
明治250年	明治251年
明治251年	明治252年
明治252年	明治253年
明治253年	明治254年
明治254年	明治255年
明治255年	明治256年
明治256年	明治257年
明治257年	明治258年
明治258年	明治259年
明治259年	明治260年
明治260年	明治261年
明治261年	明治262年
明治262年	明治263年
明治263年	明治264年
明治264年	明治265年
明治265年	明治266年
明治266年	明治267年
明治267年	明治268年
明治268年	明治269年
明治269年	明治270年
明治270年	明治271年
明治271年	明治272年
明治272年	明治273年
明治273年	明治274年
明治274年	明治275年
明治275年	明治276年
明治276年	明治277年
明治277年	明治278年
明治278年	明治279年
明治279年	明治280年
明治280年	明治281年
明治281年	明治282年
明治282年	明治283年
明治283年	明治284年
明治284年	明治285年
明治285年	明治286年
明治286年	明治287年
明治287年	明治288年
明治288年	明治289年
明治289年	明治290年
明治290年	明治291年
明治291年	明治292



旭川の上質なパウダースノーを満喫

情報発信と商品開発で観光回復へ

台湾から移住
大雪カムイミンラDMO
カ ウ タイ
何 雨庭さん



大自然や雪、都市と農村のバランスに引かれ、DMOに就職しました。コロナの影響でこの2年は多くの企画が中止され、観光には厳しい状況が続いているですが、ツアー内容の考案や情報発信を続けています。大雪エリアができる日本文化の体験や冬のアクティビティなどを、多くの人に楽しんでもらいたいです。



平成から令和、新たな時代へ
昭和の終わり頃には、買物公園にファストフード店が進出するなど、海外や一部の大都市のみにあつた新たなモノやサービスが旭川にも取り入れられ、生活様式も変わっていました。平成に入りバル経済が崩壊すると、市内の商業も大きな変化を迫られました。官民一体の象徴として発展してきた家具産業では、婚礼家具の需要が落ち込み、たんす等の箱物家具の売上が減少。需要の変化に対

応するため、デザイン力を磨き、椅子やテーブルなどの脚物家具の生産に注力していきます。酒造業では、ビールや洋酒の消費量が増え、日本酒の人気が低迷。各社は消費者のニーズに応じた新商品の開発や、海外展開を加速させながら、飽くなき挑戦を続けてきました。

平成の半ばに入つても国内消費は低迷が続きます。国は打開策として「ビジット・ジャパン・キャンペーン」で外国人観光客の誘致を始めますが、当初、外国人観光客

客は大都市に集中していました。観光大国のフランスでも、パリやニースなど名が知られた観光地に人気が集中するように、旭川に呼び込むのは簡単ではありませんでした。このようなかでも、旭川空港への国際線の誘致や、周辺市町村と広域プロモーション活動を継続。旭川にも徐々に外国人が訪れ、旭山動物園や上質なパウダースノーや楽しめるウインタースポーツが人気を集めました。

平成の終わり頃には、SNSの普及によって地方都市の情報が世界に届くようになりました。外国人観光客は見る見る増加。平成25年にはおよそ5万泊だった外国人の宿泊延べ数は、令和元年には25万泊を超え、市内は多くの外国人観光客でぎわいました。

「ワクワクするまち・旭川」へ

先人たちは、災害や戦争、社会の変化など多くの苦難を乗り越え、現在の旭川を築いてきました。コロナ禍で私たちの生活は一変しましたが、市民・行政が手を携え、次の100年に続く「ワクワクするまち・旭川」をつくり上げていきましょう。

【詳細】政策調整課

25・5358

令和元年 (2019年)	平成30年 (2018年)	平成27年 (2015年)	平成26年 (2014年)	平成23年 (2011年)	平成18年 (2006年)	平成16年 (2004年)	平成12年 (2003年)	平成7年 (1995年)	平成2年 (1989年)	平成元年 (1989年)
野に加盟認定 トワーワークのデザイン分 ユネスコ創造都市ネット ナルがオープン	旭川空港国際線ターミ 鹿児島県南さつま市と 姉妹都市提携	駅周辺開発事業「北彩 都あさひかわ」が完成	旭川駅新駅舎（4代目） が全面開業	旭川駅新駅舎（4代目） が全面開業	旭川～韓国ソウル、旭 川空港初の国際定期便 就航	本一 旭山動物園の7月と8 月の月間入園者数が日 本一	平和通買物公園がリニ ューアルオープン	中国哈爾濱市と友好都 市提携	韓国水原市と姉妹都市 提携	国際家具デザインフェ ア旭川を開催

スタルヒン球場は「夢の場所」

旭川実業高校から
千葉ロッテマリーンズへ
たなか ふうき
田中楓基さん



小学生の頃から、勝つと周りの人が喜んでくれることが原動力でした。スタルヒン球場は昔から夢の場所で、応援されて投げる姿を思い描いていました。今では高校3年間の思い出が詰まった、大切な場所です。皆さんの期待に必ず応え、野球界を盛り上げたいです。野球界の大先輩である田中将大投手と同姓ですが、「田中といえば楓基」といわれる投手を目指します。



混乱期の市民生活を支えた露店

オープン当時の買物公園



多くの観客でにぎわうスタルヒン球場

昭和59年 (1984年)	昭和56年 (1981年)	昭和47年 (1972年)	昭和43年 (1968年)	昭和42年 (1967年)	昭和38年 (1963年)	昭和37年 (1962年)	昭和36年 (1961年)	昭和30年 (1955年)	昭和25年 (1950年)
スタルヒン球場がオーピング を開催	第1回旭川国際バーサ イスキー大会（現バー サーコペット・ジャパン） が開催	平和通買物公園がオーピ ング	東鷹栖町合併	神楽町合併	友好都市提携	東旭川町合併	旭川空港開港	旭山動物園開園	陸上自衛隊第2師団編 成（ノーマル市とは昭和 62年に提携）

戦争が終わり、日本が連合国軍の占領下に置かれる、旭川にもGHQが約5千人進駐しました。第七師団は解体され、師団通は平和への願いを込めて「平和通り」に。資産を失った引き揚げ者による露店が開設され、食糧難とインフレが続く市民生活を支えました。社会が安定するにつれ、国策パルプ旭川工場の再開、各醸造元の再始動、急行列車の運行復活など、経済活動が回復。昭和25年に開かれた北海道開発大博覧会は、市内

戦後復興から高度成長へ

に明るさと活気をもたらし、戦後に復興の契機の1つとなりました。

昭和30年代になると、民間の積極的な設備投資に加えて、東京五輪や大阪万博の特需を背景に高度経済成長期を迎えます。市内にお

いても、様々な施設やインフラが整備され、昭和41年に旭川空港が開港、翌年には旭山動物園が開園

に憩える場所にしたい。そんな思

いが関係省庁を動かし、昭和47年に平和通買物公園がオープン。全

国初の恒久的歩行者天国として脚